



令和2年10月28日

各位

会社名 東海旅客鉄道株式会社
代表者名 代表取締役社長 金子 慎
(コード番号 9022 東証、名証各第1部)
問合せ先 執行役員広報部長 武田 健太郎
(TEL. 052-564-2549)

通期業績予想、剰余金の配当（中間配当）及び配当予想に関するお知らせ

当社は、令和2年10月28日開催の取締役会において、令和2年9月30日を基準日とする剰余金の配当（中間配当）を行うことについて決議いたしました。また、令和2年7月31日公表の「令和3年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）」において、未定としておりました令和3年3月期（令和2年4月1日～令和3年3月31日）の通期業績予想及び配当予想について、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 通期業績予想

(1) 令和3年3月期通期連結業績予想（令和2年4月1日～令和3年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想（A）	百万円 —	百万円 —	百万円 —	百万円 —	円 銭 —
今回修正予想（B）	863,000	△185,000	△258,000	△192,000	△977.13
増減額（B-A）	—	—	—	—	—
増減率（%）	—	—	—	—	—
（ご参考）前期実績 （令和2年3月期）	1,844,647	656,163	574,282	397,881	2,027.86

(2) 令和3年3月期通期個別業績予想（令和2年4月1日～令和3年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想（A）	百万円 —	百万円 —	百万円 —	百万円 —	円 銭 —
今回修正予想（B）	582,000	△171,000	△247,000	△187,000	△950.70
増減額（B-A）	—	—	—	—	—
増減率（%）	—	—	—	—	—
（ご参考）前期実績 （令和2年3月期）	1,436,996	623,050	540,002	378,842	1,928.84

(3) 公表の理由

令和3年3月期の業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症の発生を受けた外出及び移動の自粛等の影響により、鉄道等のご利用が大幅に減少しており、業績に影響を与える未確定な要素が多く、算定が困難であることから未定としておりましたが、最近の輸送動向等を踏まえつつ、鉄道事業において、足元のご利用状況が年末まで継続し、その後回復基調となると想定して業績予想を算定いたしましたので公表いたします。

なお、当業績予想は、今後の新型コロナウイルス感染症の収束状況や経済動向等により、大きく変動する可能性があります。

2. 剰余金の配当（中間配当）及び令和3年3月期配当予想

(1) 中間配当の内容

	決定額	直近の配当予想	前期実績 (令和2年3月期)
基準日	令和2年9月30日	同左	令和元年9月30日
1株当たり 配当金	65円	—	75円
配当金の総額	12,805百万円	—	14,775百万円
効力発生日	令和2年12月1日	—	令和元年12月2日
配当原資	利益剰余金	—	利益剰余金

(2) 令和3年3月期配当予想

	年間配当金（円）		
	第2四半期末	期末	合計
前回予想	—	—	—
今回予想		65	130
当期実績	65		
前期実績 (令和2年3月期)	75	75	150

(3) 理由

当社は、社会的使命の強い鉄道事業を経営の柱としていることから、長期にわたる安定的な経営基盤の確保・強化に取り組むとともに中央新幹線計画等の各種プロジェクトを着実に推進するため内部留保を確保し、配当については安定配当を継続することを基本方針としております。

当期の中間配当及び配当予想につきましては、この方針に基づき、最近の経営環境や業績及び業績予想等を踏まえ、上記のとおりとさせていただきます。

以上